

承認番号	2020-050
研究課題名	脱落膜ポリープ合併妊娠の周産期予後の検討
研究の意義・目的	妊娠中に子宮頸部に認められるポリープには、子宮内膜の一部が突出してできた脱落膜ポリープであることがあります。これは流産や早産の原因になることが知られていますが、実際の妊娠転帰をはじめ、その管理や治療指針には定まったものはありません。本研究ではこの脱落膜ポリープが妊娠中にどのような転帰をとるのか、どうやって管理するのがよいのかを研究します。
研究を行う期間	承認後～2026年12月31日
研究対象者の範囲	2016年1月1日～2025年12月31日に大阪市立大学医学部附属病院の女性診療科で、脱落膜ポリープの診断のため受診されたされた方が対象です。
お願いする内容	大阪市立大学医学部附属病院のみで研究いたします。
	既存の情報（診療録データ、検査データ、画像データなど）を用いて研究します。
頂いた試料・情報の提供方法	該当しません。
頂いた試料・情報の管理について責任者	女性生涯医学 准教授 橘 大介
この研究を行っている施設（共同研究機関）	該当しません。
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/obandg/
研究の成果を公表する方法	学会や論文で公表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学 窓口：橘 大介（メール：obnandg@med.osaka-cu.ac.jp、電話：06-6645-3862）